

地域ケア整備構想(仮称)を策定する趣旨

① 地域差が大きい中で、地域ごとの対応方針を整理する

- ・療養病床の整備状況は都道府県によっても、また都道府県内でも地域差が大きく、円滑な転換を進める上では、地域ごとに対応方針を検討することが求められる。
- ・単なる転換に止まらず、今後の一層の高齢化の進展を念頭に、地域におけるケア体制全般について、地域での将来的なニーズや社会資源の状況等に即して、計画的に整備することが必要となる。

② 療養病床の転換推進が惹起する住民や医療機関の不安に応える

- ・療養病床が再編成された後の受け皿がどうなるのかといった不安を抱える住民や、転換する場合に果たして介護施設の整備「枠」が確保されるのかといった懸念を抱く医療機関に将来の姿を示す。

③ 療養病床の再編成に係る関係3計画の整合性を図る

- ・療養病床の再編成は、都道府県が今後策定する「医療計画」(平成20年度～)、「医療費適正化計画」(平成20年度～)および「介護保険事業支援計画」(平成21年度～)に密接に関連することから、各計画相互に整合性のとれた方針を速やかに整理し、各計画に適切に反映させることが必要となる。